

組織グループ 事務局

事務局長:後藤 貴幸 会務セクレタリー:白田 紘子
事務局次長:長澤 翔 会務セクレタリー:寺岡 祐

<事業名>

1. 本会議所運営の統括
2. 広域まちづくり協議会4LOM合同例会の実施
3. 天童桜まつりへの協力
4. 公益社団法人日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連絡調整
5. 災害発生前後における連携並びに对外・対内連絡調整
6. 災害支援・受援マニュアルの管理及びリストの作成
7. 渉外業務の全般
8. 総会資料の作成
9. 各種大会への積極的な参加促進
10. 事務所利用及び備品管理に関する調整
11. 全員で取り組む会員拡大
12. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
13. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
14. プランディング確立に向けた運動の推進
15. その他

<事業概要>

1. 本会議所運営の統括

内 容: 対内外との連絡調整を迅速に行い、提出物に関する期日を尊守し、規律ある組織運営を行いました。

2. 広域まちづくり協議会4LOM合同例会の実施(例会)

事 業 名: 広域まちづくり協議会4LOM合同例会

実施日時: 2024年3月9日(土) 15:30~22:00

場 所: 例会 中山町総合体育館

懇親会 ひまわり温泉 ゆ・ら・ら

対象者: 公益社団法人 山形青年会議所 メンバー	72名
公益社団法人 天童青年会議所 メンバー	27名
一般社団法人 山辺青年会議所 メンバー	5名
<u>公益社団法人 上山青年会議所 メンバー</u>	9名
合計	113名

内 容: スポーツを通じ近隣LOMとのつながりが強化され、懇親会を行い親睦が深まったことで、今後のまちづくり運動に対する意識を高めることができました。

3. 天童桜まつりへの協力

実施日時：2024年4月13日(土)・14日(日) 10:00～17:00

場 所：舞鶴山山頂 天童桜まつり会場

参 加 者：LOM メンバー33名

内 容：日本将棋連盟の設立100周年を祝し、12名ものプロ棋士が来場されたことで会場内は多くの来場者で賑わい、天童青年会議所が開設した特設ブースでは、どうぶつ将棋やデカ5五将棋などで将棋の魅力を感じていただくことができました。

4. 公益社団法人日本青年会議所、東北地区協議会、山形ブロック協議会との連絡調整

内 容：各種会議、セミナー、大会登録の連絡を行いました。

5. 災害発生前後における連携並びに对外・対内連絡調整

5-1 2024年1月に発生した石川県能登半島地震、7月に発生した山形県北部豪雨災害の際、社会福祉協議会および山形ブロック協議会を通して支援要請があり、対内外と迅速に連絡調整を行い、以下の災害ボランティア活動に参加しました。

【石川県能登半島地震】

2月7日(水) 七尾市ボランティア 7名

2月26日(月) 七尾市ボランティア 5名

合計 12名

【山形県北部豪雨災害】

7月30日(火) 酒田市ボランティア 3名

7月31日(水) 酒田市ボランティア 1名

同日 戸沢村ボランティア 1名

8月1日(木) 酒田市ボランティア 3名

8月21日(水) 酒田市ボランティア 2名

8月22日(木) 酒田市ボランティア 1名

8月23日(金) 酒田市ボランティア 2名

合計 13名

5-2 LOM 緊急連絡網を使用した防災訓練の実施

実施日時：9月23日(月) 15:00～21:00

場 所：自由

参 加 者：LOM メンバー 51名

内 容：メンバー手帳内に記載されているLOM緊急連絡網を使用し、防災訓練を実施いたしました。災害が発生した際に行う安否確認の連絡・報告の一連の流れを通し、メンバーの防災に対する意識向上につながりました。

6. 災害支援・受援マニュアルの管理及びリストの作成

内 容：天童市社会福祉協議会とともに災害時支援・受援マニュアルの見直しを図り、またリストの作成を行いました。

7. 渉外業務の全般

内 容：関係諸団体と各地青年会議所との連絡調整を行い、送付物等迅速に対応しました。

8. 総会資料の作成

内 容：関係資料をとりまとめ、対内外との連絡調整を行い、総会資料を作成しました。

9. 各種大会への積極的な参加促進

内 容：各種大会の内容や魅力をLINEにて配信し、参加促進を行いました。

- ・京都会議 7名
- ・JCI ASPAC アンコール大会(カンボジア) 2名
- ・第57回山形ブロック大会南陽大会 33名
- ・サマーコンファレンス 10名
- ・東北青年フォーラム in 青森 13名
- ・第73回全国大会福岡大会 14名
- ・JCI 世界会議桃園大会(台湾) 2名

10. 事務所利用及び備品管理に関する調整

内 容：事務所の備品や資料などの整理整頓をはじめ、事務所が混雑しないように使用日の前日まで各委員長に使用連絡をしていただくよう呼びかけました。

11. 全員で取り組む会員拡大

内 容：会員拡大のため拡大会議、拡大活動を行いました。

12. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加

内 容：下記の大会へ参加し出向者支援を行いました。

- ・京都会議
- ・JCI ASPAC アンコール大会(カンボジア)
- ・第57回山形ブロック大会南陽大会
- ・サマーコンファレンス
- ・東北青年フォーラム in 青森
- ・第73回全国大会福岡大会
- ・JCI 世界会議桃園大会(台湾)

13. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内 容：地域を盛り立てるべく、以下の事業に参加しました。

- ・スノーパークフェスタ
- ・天童市立第三中学校の職業講話
- ・634 の松交流イベント
- ・天童夏まつり
- ・天童高原まつり
- ・YAMAGATA ROCK FES
- ・第 30 回天童令和鍋合戦
- ・第 47 回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバル

14. ブランディング確立に向けた運動の推進

内 容：ブランディング委員会と連携し、SNS を通して情報発信を行いました。

15. その他

15-1 街頭募金活動の実施

実施日時：1月 7 日（日）・8 日（月） 10：30～13：00

場 所：道の駅天童温泉 産直サンピュア店

参 加 者：LOM メンバー 1月 7 日 17 名

LOM メンバー 1月 8 日 17 名

合計 34 名

募 金 額：338,210 円

募 金 先：公益社団法人 日本青年会議所 令和 6 年度能登半島地震支援金

内 容：1月 1 日に発災した能登半島地震に対する迅速な対応として街頭募金活動を行い、多くの方々より思いを寄せていただきましたまた、お預かりした募金は上記の窓口へ送金しました。

15-2 ボーイスカウトと街頭募金活動の実施

実施日時：3月 17 日（日） 10：00～14：00

場 所：道の駅天童温泉 産直サンピュア店

参 加 者：LOM メンバー 15 名

ボーイスカウトメンバー 9 名

合計 24 名

募 金 額：53,740 円

募 金 先：石川県共同募金会

内 容：ボーイスカウトメンバーと共に能登半島地震に向けた街頭募金活動を行いました。また、お預かりした募金は東京都にある石川県の事務所に直接届けました。

15-3 環境美化活動

実施日時：5月19日(日) 6:30～8:00

実施場所：倉津川沿い

参加者：LOMメンバー 21名

一般参加者 13名

合計 34名

内容：ゴミ拾い活動を早朝に行いました。また、メンバーの家族にも参加していただき、JCへの理解を深めていただくことができました。

15-4 天童市長選挙公開討論会

実施日時：11月21日 19:00～21:00

実施場所：天童市総合福祉センター1F屋内運動広場

参加者：LOMメンバー 26名

山形ブロック協議会メンバー 5名

一般参加者 97名

合計 128名

内容：16年ぶりとなる天童市長選挙公開討論会の構築から設営、運営を山形ブロック協議会と連携し行いました。また、討論会の様子をブランディング委員会の協力を得て、インスタグラムを使用したライブ配信や、撮影した動画をYouTubeにて配信しました。

<黒田専務理事コメント>

後藤事務局長を中心に天童青年会議所の円滑な運営のために職務を遂行しました。本年は元日に発災した能登半島地震から始まり、県内においても庄内最上地方豪雨災害の連絡調整・災害支援の動きもありましたが、事務局を筆頭にLOM一丸となって対応することができました。片桐理事長の掲げる「NO LIMIT」の言葉通り、ラストイヤーを迎えた私にとっても集大成といえるような一年であったと思います。例年にはない動きも数多くありましたが、若いメンバーが増えている天童青年会議所において、今年一年の経験が組織のますますの発展につながると確信しております。

<後藤事務局長コメント>

事務局では「皆で学び成長する」を委員会スローガンに掲げ、組織の下支えをするべく1年間を通じ事務所の管理やメンバーへの出欠確認などの目立たない活動をはじめ、各委員会や出向者へ対し積極的にサポートを行いながらたくさんの学びや新しい出会いを経験することができました。そして今年度は、ASPACや世界会議へも理事長と共に参加できたことに関しては、メンバーの知見を広めることや、国際的な距離感を縮める素晴らしいきっかけになったと感じております。また、今年度は災害も複数回発生し緊急対応に追われる日々もありましたが、組織グループ一丸となり、関係諸団体と密な連携を取りながら、心を寄せてくれる多くのメンバーとともにボランティア活動を行ったことで組織の結束力が強化されたと実感しております。理事長が掲げたスローガン「NO LIMIT」の言葉通り、限界を設けずに駆け抜けた

この1年間の経験を活かし、今後も挑戦を忘れずさらなる高みを目指し努力してまいります。

<長澤次長コメント>

事務局として、メンバー全員に例会や事業に参加してもらえるような工夫をし、京都会議・サマコン・全国大会・東北青年フォーラム・ブロック大会・各例会・委員会事業等ではたくさんのメンバーに参加していただき、出向者や各委員会メンバーを盛り上げ、そしてメンバー間の交流を図ることができたと思います。また、新たに地域のごみ拾いを行うなど、地域の方々に天童青年会議所の活動を見ていただく機会を作れたことは、今後の活動に向けて良い点であったと感じました。各種大会も全面的に再開された中、後藤事務局長を中心に事務局一丸となり、事務局の担いを全うできたと感じております。今年の活動で得た学びを大切にし、さらに地域から必要とされる組織となるよう邁進してまいります。

組織グループ ブランディング委員会

委員長：太田 広樹

委員：渋谷 祐信

副委員長：熊澤友里恵

委員：東谷 祥子

幹事：片菊 正規

<事業名>

1. 総会の実施及び議事録の作成
2. 新年会の開催
3. 例会、常任理事会、理事会の運営及び理事会議事録の作成
4. 各種事業におけるセレモニーの運営実施
5. 役員選考委員会委員選挙の実施
6. 年間報告ならびに褒賞事業の実施
7. 会員データ (OB、賛助会員含む) の管理及び名簿作成
8. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築
9. 法令を遵守した情報公開とメディアを駆使したスピーディーな情報発信
10. 全員で取り組む会員拡大
11. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
12. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
13. ブランディング確立に向けた運動の推進
14. その他

<事業概要>

1. 総会の実施及び議事録の作成

1-1 事業名：天童青年会議所 2024 年度 1 月通常総会

実施日時：2024 年 1 月 26 日 (金) 15:55～16:30

場所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参加者：LOM メンバー 44 名 (内、委任状出席 13 名)

合計 44 名

内容：下記議案の審議を行い、承認しました。

第 1 号議案 公益社団法人天童青年会議所 2023 年度事業報告承認の件

第 2 号議案 公益社団法人天童青年会議所 2023 年度収支決算報告承認の件

第 3 号議案 公益社団法人天童青年会議所 2024 年度事業計画承認の件

第 4 号議案 公益社団法人天童青年会議所 2024 年度収支予算書承認の件

1-2 事業名：天童青年会議所 2024 年度 9 月通常総会

実施日時：2024 年 9 月 5 日 (木) 19:30～20:40

場所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間

参加者：LOM メンバー 53 名 (内、委任状出席 14 名)

合計 53 名

内 容：下記議案の審議を行い、承認しました。

第1号議案 2025年度理事予定者及び次年度理事選任の件

第2号議案 2025年度理事長候補者選定承認の件

第3号議案 2025年度監事予定者及び次年度監事選任の件

2. 新年会の開催

2-1 事業名：公益社団法人天童青年会議所 2024年度 新年祝賀会

実施日時：2024年1月26日（金）18:00～20:00

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間

参 加 者：LOMメンバー 35名

関係諸団体34か所 21名

他LOMメンバー 19名

天童青年会議所OB会員 18名

合計 93名

内 容：理事長挨拶、理事者紹介、出向者紹介、新入会員紹介を行い、関係諸団体と来訪JC、OB会員に対して新年度体制による天童青年会議所への理解を深めていただきました。

3. 例会、常任理事会、理事会の運営及び理事会議事録の作成

3-1 例会の運営

（1）庶務規定6条に基づき、例会を欠席または遅刻する際の連絡は、当日正午までブランディング委員会または例会担当委員会が受け付けました。

（2）庶務規定6条に基づき、例会及び会議の出席率を3, 6, 9, 12月の理事会に報告しました。

（3）庶務規定8条に基づき、出席率30%未満の正会員に対し例会出席の呼びかけを行いました。

（4）庶務規定9条に基づき、メイクを行いました。

（5）庶務規定10条に基づき、ネームプレート、バッジ、ネクタイの着用を励行しました。

（6）庶務規定11条に基づき、1年間を通じ事業内容及び出席率が優秀な委員会、および優良メンバーを理事会の決定により表彰しました。

（7）庶務規定15条に基づき、財務局長へ欠席に対しペナルティーの計算及び報告を行いました。

（8）例会出席表の作成、集計を行いました。

3-2 常任理事会の運営

（1）会場設営及び開催に伴う事務所利用制限の掲示を行いました。

（2）常任理事会資料の事前配信を行いました。

3-3 理事会の運営及び理事会議事録の作成

（1）会議資料の取り纏めを行いました。

(2) 理事会資料の事前配信を行いました。

(3) 会議資料の受け付け

- 会議資料は完成された電子資料のみを期日まで受け付けしました。
- 理事会の充実を図るために、配布資料は原則 PDF ファイルでの提出とし、リンク付けを完了した状態で受け付けました。
- 審議の際は、資料訂正後に承認された場合、訂正した資料を即時提出しました。

(4) 会議の運営

- 議案上程にあたっては、会議次第にタイムスケジュールを明記し、円滑な進行の一助となるようにしました。

(5) 議案上程スケジュールについては以下の通り行いました。

- ①理事会 7日前 資料提出日・締切日時の連絡
- ②理事会 4日前 資料受付の締切
- ③理事会 3日前 電子資料の配布
- ④理事会 2日前 12時まで 事前意見の募集

(6) 議事録の作成

議事録に関しては、法令で定めるところにより作成し翌月の理事会に提出しました。

(7) 各委員会議事録

各委員会は必ず毎月 1 回以上開催し、議事録を毎月理事会へ提出しました。

4. 各種事業におけるセレモニーの運営実施

(1) 例会の趣旨に合わせた効率的な運営を行いました。

- 開会セレモニー (15分)

理事長挨拶

- 例会行事 (各例会事業の計画による)
- 閉会セレモニー (20分 監事講評含む)

監事講評

アテンダンス及び優良委員会の発表

連絡報告依頼事項

※開会セレモニーにて 3 分間スピーチを実施しました。

- ①1月通常総会 須藤晃君、水戸慧一君 テーマ「2024年度、新たな冒険に必要なこと」
- ②9月通常総会 川股隆宏君、横山翼君 テーマ「NO LIMIT 限界を超えるために」
- ③11月第一例会 阿部勇也君、岩井麗君 テーマ「チームワークを高めるために」

(2) 例会セレモニーの司会はブランディング委員会が担いました。

5. 役員選考委員会委員選挙の実施

5-1 事業名：役員選考委員会委員選挙

実施日時：期日前投票 2024年6月13日（木）12:00～13:00、19:00～20:00

選挙・開票 2024年6月17日（月）19:30～21:30

場 所：期日前投票 天童 JC ルーム
選挙・開票 天童市農業センター 大会議室、会議室 1
参 加 者：LOM メンバー 41 名（期日前投票 16 名、選挙当日 25 名）
内 容：次年度役員選考委員会委員の選出のための選挙運営を行いました。

6. 年間報告ならびに褒賞事業の実施

6-1 事業名：年間報告ならびに褒賞事業

実施日時：2024 年 11 月 12 日（火）18：30～21：40

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥瑞鶴の間

参 加 者：LOM メンバー 40 名

内 容：各委員会、出向者が 2024 年度の報告を行い、1 年間の実績を共有しました。また、褒賞事業、理事長表彰を行い、次年度以降の運動に対する各メンバー意欲を高めることができました。

7. 会員データ（OB、賛助会員含む）の管理及び名簿作成

7-1 OB 会員及び物故会員の把握及びメンバーリストへの反映

内 容：OB 会員及び物故会員を調査し、メンバーリストへの反映を行いました。

7-2 メンバーリストの作成

内 容：会員調査票を活用し、メンバーリストの作成を行いました。

8. メンバー間の円滑な情報伝達網の構築

- (1) メンバー間の連絡及び情報交換ツールとしてマーリングリストを整備しました。
- (2) 緊急時など迅速な情報伝達が求められる時に備え LINE グループを作成しました。
- (3) 翌月の各種事業日程をまとめ、毎月末日に LINE にて配信しました。
- (4) 情報伝達は、主に LINE を活用して行いました。また、より確実に情報共有を行なうため、マーリングリストでの連絡を併用しました。

9. 法令を遵守した情報公開とメディアを駆使したスピーディーな情報発信

9-1 法令を遵守した情報公開のため、下記の内容を公開しました。

- (1) 定款
- (2) 役員名
- (3) 組織図
- (4) 事業報告書
- (5) 収支計算書
- (6) 正味財産増減計算書
- (7) 貸借対照表
- (8) 財産目録
- (9) 事業計画書

(10) 収支予算書

9-2 地域向け月刊情報誌（サンデータイムス）を利用した情報の公開

- (1) 多くの天童市民の目に入るよう市内全戸配布を行っているサンデータイムスを利用し、天童青年会議所の運動を発信しました。

天童市内ポスティング（天童市内全戸配布）	22,900 部
東根市内ポスティング（神町地区全戸・東根市中央）	9,000 部
その他（山形、村山、寒河江、尾花沢、河北）公共施設等	3,300 部
	合計 35,200 部

（毎月第2日曜日発行、ポスティングは第1日曜日より開始）

【こま第155号（春号）】

発行月 2024年4月 全段11段（W241×H377） 2ページ
理事長挨拶、公益社団法人天童青年会議所2024年度諸情報、
メンバー紹介、年間スケジュール、新入会員募集記事、他

【こま第156号（秋号）】

発行月 2024年9月 全段11段（W241×H377） 2ページ
理事長挨拶、将棋大会関連記事、新入会員募集記事、他

9-3 天童青年会議所公式ホームページを利用した情報の公開を行いました。

各種例会、事業等の告知・報告を行いました。

9-4 スピーディーな情報の発信

公開例会等で、各委員会が対外的な広報活動を必要とする際、SNS等（Facebook、Instagram）での情報発信を行いました。例会や委員会事業当日の様子だけでなく、事前PRや天童市に関する豆知識など、投稿数を増やすことで、1月1日時点で200名だったフォロワー数を、12月時点で650名まで増やすことができました。

10. 全員で取り組む会員拡大

内 容：会員拡大のため拡大会議、拡大活動を行いました。

11. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加

内 容：下記の大会へ参加し出向者支援を行いました。

- ・第57回山形ブロック大会南陽大会
- ・第73回全国大会福岡大会

12. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内 容：地域を盛り立てるべく、以下の事業に参加しました。

- ・スノーパークフェスタ

- ・天童第三中学校の職業講話
- ・634 の松交流イベント
- ・天童高原まつり
- ・YAMAGATA ROCK FES
- ・第 30 回天童令和鍋合戦
- ・天童市長選挙 公開討論会

13. ブランディング確立に向けた運動の推進

内 容：SNS を通して情報発信を行いました。

14. その他

内 容：

- ・道の駅 天童温泉産直サンピュア店にて 1 月 7 日、1 月 8 日に募金活動を行いました。
- ・これまで LINE 上の文章で行っていた月報の配信を、新たにスプレッドシートを作成し配信を行いました。
- ・天童市長選挙公開討論会にてインスタライブ配信と、YouTube チャンネルで動画をアップロードしました。

<押野ブランディング担当常任理事兼財務局長コメント>

ブランディング委員会は、総会や理事会の準備や議事録の作成、広報活動等、年間通して活動する委員会ですが、太田委員長を中心に、思いやりの持った協力体制の下、期待される役割を十分に果してくれました。その甲斐もあって、円滑な組織運営の一助になるとともに、メンバー一人ひとりが大きく飛躍し、成長を遂げてくれました。今年度の経験はしっかりと次年度に引継ぎ、天童市および天童青年会議所のさらなる発展に寄与していきたいと思います。

<太田委員長コメント>

総会や理事会の運営、各種事業の際のセレモニーの実施、その他、月報や議事録作成など多岐にわたる業務を行うことで、天童青年会議所の 1 年間の動きを把握することができ、多くの学びがありました。また、前年度の総務委員長が開設したインスタグラムに力を入れ、フォロワー数を大幅に増やすことができました。次年度の総務委員会には、今年度の活動で参考できる部分があれば引き継いでいただき、より市民に認知、共感していただける活動を行っていただければと思います。

<熊澤副委員長コメント>

今年度、ブランディング委員会副委員長として、広報の役割を担わせていただきました。インスタグラムのフォロワー数を増やすことで、これまで以上に天童青年会議所の認知度を高めることができました。次年度、広報を担当する委員会に今年度の経験を引継ぎ、より多くの認知と共感を得られる施策を行っていただければと思います。

将棋大会特別委員会

委員長：門脇 皓嗣	委員：川股 隆宏
副委員長：増子 貴彦	委員：今野 未菜
幹事：水戸 慧一	委員：佐藤 元一
	委員：鈴木 雄太

＜事業名＞

1. 第45回全国中学生選抜将棋選手権大会（第26回女子の部）及び記念事業の実施
県、地区予選会への協力
2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索
3. 将棋関連事業全般への協力
4. 全員で取り組む会員拡大
5. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
6. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
7. ブランディング確立に向けた運動の推進
8. その他

＜事業概要＞

1. 第45回全国中学生選抜将棋選手権大会（第26回女子の部）の開催（例会）
県、地区予選会への協力

事業名：第45回全国中学生選抜将棋選手権大会（第26回女子の部）

実施日時：2024年8月2日（金）・3日（土）・4日（日）

場所：ほほえみの宿 滝の湯

主催：天童市

公益社団法人日本将棋連盟

公益社団法人天童青年会議所

後援：文化庁

山形県教育委員会

天童市教育委員会

天童温泉協同組合

天童商工会議所

東日本旅客鉄道株式会社天童駅

毎日新聞山形支局

NHK 山形放送局

山形新聞・山形放送

山形県将棋駒協同組合

参 加 者 : LOM メンバー	52 名 (100%例会を達成)
来賓	41 名
参加選手	52 名
<u>参加選手 (女子の部)</u>	<u>47 名</u>
合計	192 名

大会結果 : 第 45 回全国中学生選抜将棋選手権大会 (参加者 52 名)

優 勝	山下 雄万 さん	(香川) 坂出市立坂出中学校	3 年
準優勝	岩田 新平 さん	(大阪) 大阪市立今市中学校	1 年
第三位	三浦 寛人 さん	(山形) 山形市立第一中学校	3 年
第四位	森 寛仁 さん	(福岡) 福岡市立友泉中学校	2 年
第 26 回女子の部 (参加者 47 名)			
優 勝	華房 永茉 さん	(愛知) 愛知淑徳学園愛知淑徳中学校	1 年
準優勝	内木場 千咲 さん	(宮崎) 宮崎市立生目台中学校	1 年
第三位	川添 瑞穂 さん	(佐賀) 唐津市立鬼塚中学校	3 年
第四位	太田 理咲子 さん	(広島) 広島大学附属中学校	1 年

1 - 1 第 45 回全国中学生選抜将棋選手権大会 45 周年記念レセプションの実施

実施日時 : 2024 年 8 月 2 日 (金) 18:20~19:20

場 所 : ほほえみの宿 滝の湯 祥鶴の間

参 加 者 : 大会関係者 24 名 (来賓 18 名、LOM メンバー 6 名)

内 容 : 第 40 回大会より第 44 回大会までの歴史を振り返り、今後も末永く大会を行える
よう大会関係者の皆様に感謝の意を表するとともに、交流を交えて親睦を深め
ることができました。

1 - 2 上記大会の県、地区予選への協力

(1) 第 45 回全国中学生選抜将棋選手権大会 天童地区予選会

実施日時 : 2024 年 5 月 12 日 (日) 10:00~15:00

場 所 : 天童将棋交流教室

参 加 者 : 4 名 (男子 4 名)

大会結果 : <男子の部>

優 勝	海鋒 壮裕さん	天童市立第三中学校	2 年
準優勝	丸子 鳩太さん	天童市立第二中学校	1 年
第三位	今野 翔太さん	天童市立第一中学校	2 年

内 容 : 優勝した海鋒壮裕さんの本大会出場が決定いたしました。

(2) 第 45 回全国中学生選抜将棋選手権大会 山形県予選会

実施日時 : 2024 年 5 月 26 日 (日) 10:00~17:30

場 所：天童将棋交流教室

参 加 者：16名（男子：15名、女子1名）

大会結果：<男子の部>

優 勝 黒沼 亮人さん 東根市立第一中学校 2年

準優勝 三浦 寛人さん 山形市立第一中学校 3年

第三位 仲田 航平さん 西村山郡大江中学校 3年

<女子の部>

優 勝 真壁 知花さん 米沢市立第三中学校 3年

内 容：男子の部上位2名の黒沼亮人さんと三浦寛人さん、女子の部優勝の真壁知花さん、以上3名の本大会出場が決定いたしました。

2. 全国中学生選抜将棋選手権大会の更なる発展を目指した運営の模索

2-1 運営方法の継続・実施

（1）礼を重んじる大会

内 容：勝敗だけでなく将棋を通した礼儀作法への意識を深めるために、大会出場選手へ服装やお辞儀の仕方、対局のマナーについての文書を事前に配布しました。また、代表選手としての自覚を促すとともに青少年の健全育成につなげるために、開会式及び、閉会式のリハーサルにおいて、立ち振る舞いや返事の仕方などの練習を行いました。

（2）将棋駒の製作実演・販売及び駒製作工程のパネル展示（駒組合への協力依頼）

実施日時：2024年8月3日（土）13:00～17:30

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間入り口前

内 容：実際に将棋駒に触れてもらうことで地場産業の発展につなげるために、書き駒師、彫り駒師による、駒製作の実演販売（駒キー ホルダーの作成、天童の将棋駒の展示、将棋駒製作過程のパネルの掲示）を行いました。

（3）地場産業特設ブースの出展

実施日時：2024年8月2日（土）13:00～8月4日（日）12:00

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 1階お土産コーナー内

協 力：株式会社赤塚製氷様、株式会社新月堂様、株式会社ロビン様

内 容：天童市内で地元に根付き将棋を介した商品開発販売を行っている企業が手掛けていた商品を大会の会場に設ける特設ブースにて展示販売を行いました。全国各地より来られる選手、付添の方々に商品を触れていただき、将棋の聖地である天童の地域文化に対する更なる周知を図りました。

（4）天童市内中学生から運営面での協力をいただく

内 容：天童市内の全中学校の皆様よりご協力いただきました。

天童市立第一中学校	生徒	2名	8月2日受付補助
天童市立第二中学校	生徒	1名	開会式 歓迎のことば
天童市立第三中学校	生徒	2名	8月2日受付補助
天童市立第四中学校	生徒	2名	開会式 出場選手紹介

2-2 更なる発展を目指した運営の模索

(1) 実行予算の精査

内 容：事業内容を精査し予算に反映しました。また、天童市よりご協力いただき、大会を広く周知してもらうための広報物として、大会開催の垂れ幕、横幕及び、大会のぼり旗、ポスターを作成するために使用しました。

(2) 協賛金収集の精査

内 容：協賛企業リストの見直しを行い、過去数年協賛をいただいているOB企業の掘り起こしや、新規で協賛をいただく際に理解していただけるよう改善を行いました。また、今年度より協賛金リストをスプレッドシートにてメンバーが共有できるよう工夫し、ウェブにて随時リストを閲覧可能にしました。その結果多くの金額をご協賛いただくことができました。

(3) 協賛金収集方法の模索

内 容：2024年度協賛金スローガン「お互い様の精神で団結しよう」を掲げ、収集方法を委員会グループでの達成を目指したこと、全メンバーから多くの協賛金収集にご協力いただきました。また、今年度はA2版に加えA4版ポスターの作成を行い、協賛金の依頼に伺う際に大会を広く周知してもらうために同梱したことにより、回覧や会社に掲示するなどの方法で周知の拡大を図りました。

(4) SNSを活用した情報の発信

内 容：天童青年会議所HP、Facebook、Instagramの引継ぎを行い、日本将棋連盟HPへの大会HPのリンク依頼を行い発信しました。また、今年度より将棋大会HPを一新したこと、参加者や付添人の皆様への情報発信とさらなる大会の周知につなげることができました。

(5) 企業と連携した新たな試み

実施日時：2024年8月3日（土）09:30～18:00

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間入り口前

内 容：将棋に係る事業を行っている企業として、株式会社デンソーFA山形様と連携することにより、大会期間中に将棋ロボットの実演及び体験を実施させていただきました。大会参加者や付添人の皆様に、新たな方法での将棋の楽しみ方を周知していました。機会の提供を行いました。

(6) 市内各所への大会広報物の掲示

①垂れ幕及び横幕の掲示

実施日時：2024年7月18日（月）～8月4日（日）

場 所：天童市役所（垂れ幕）

天童駅改札前（横幕）

天童南駅前広場（横幕）

内 容：大会開催を幅広い人々へ周知するために、天童市役所外壁北側に大会開催の垂れ幕を掲示しました。また、天童駅改札前と天童南駅前広場のフェンスに大会開催の横幕を掲示しました。

②大会のぼり旗の設置

実施日時：2024年7月18日（月）～8月4日（日）

場 所：天童駅前通り

内 容：大会開催の周知と大会参加者の歓迎の意味を込めて、天童駅前通りに大会参加者歓迎のぼり旗を掲示しました。

③大会ポスターの掲示

場 所：天童駅、ほほえみの宿 滝の湯周辺、天童温泉街中心部、メンバー企業

内 容：大会の開催を認識してもらい、より地域に根差した大会にするためポスター掲示を行いました。今年度はポスターのサイズをA2版に加え、A4版も作成して協賛金の依頼に伺う際の周知の一助として活用しました。

(7) 大会歴史垂れ幕の展示

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 舞鶴の間

内 容：滝の湯会場にて大会の歴史や伝統を、参加選手、ご来賓の方に広く周知するため、歴史垂れ幕の展示を行いました。

2-3 45周年記念事業「選手グループ対抗リレー将棋 プロ棋士エキシビションマッチ」

実施日時：2024年8月3日（土）19:30～21:30

場 所：ほほえみの宿 滝の湯 祥鶴の間

参 加 者：公益社団法人日本将棋連盟所属棋士 5名

参加選手 52名

参加選手（女子の部） 47名

合計 104名

内 容：大会出場選手との交流事業として、公益社団法人日本将棋連盟所属棋士5名をご招待して45回記念事業としてエキシビションマッチを開催しました。その後棋士の皆様が参加選手グループに混ざり、グループ対抗リレー将棋を行いました。大会では初と

なる棋士を交えての交流事業となり、参加選手への機会の提供を行うことで、大会理念である青少年の健全育成につなげることができました。

3. 将棋関連事業全般への協力

（1）天童市民将棋大会・大山康晴十五世名人杯争奪将棋大会（将棋フェスティバル）

実施日時：2024年10月5日（土）、6日（日）

場所：ほほえみの宿 滝の湯

参加者：10月5日（土）…LOMメンバー4名

10月6日（日）…LOMメンバー3名

内容：前日の設営と当日の受付、運営の補助を行いました。

（2）関係諸団体と連携をとり、SNSを使用した相互発信

内容：公益社団法人日本将棋連盟と連携して各種SNSにて大会の情報発信を行いました。

4. 全員で取り組む会員拡大

内容：拡大専用LINEで情報共有するとともに、2月に拡大会議を行いました。

5. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加

内容：第57回山形ブロック大会南陽大会に参加して出向者への支援を行いました。

6. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内容：下記の事業へ協力をしました。

- ・スノーパークフェスタ
- ・天童第三中学校の職業講話
- ・天童夏まつり
- ・天童高原まつり
- ・第30回令和鍋合戦

7. ブランディング確立に向けた運動の推進

内容：SNSや広報誌を活用した情報発信を行いました。大会公式LINEによる参加選手、付添人へ発信を行い大会の周知につなげることができました。ブランディング委員会が行っている天童青年会議所Instagramアカウントと将棋大会アカウントを相互フォローし情報を発信しました。2月上旬のアカウント立ち上げより12月01日までフォロワー数が48名から158名となり、110名増加しました。広報誌こま第156号にて、将棋大会の結果報告と大会協賛一覧を掲載しました。

8. その他

実施日時：2024年11月3日（日）

場 所：東京都渋谷区代々木神園町2-1 代々木公園内

参 加 者：LOM メンバー5名

内 容：第47回渋谷区くみんの広場ふるさと渋谷フェスティバルに参加して、ブースに来てくださった皆様に、デコ将棋の体験と配布を行い、天童市のPRを行いました。

＜武田副理事長コメント＞

今回、5年前の全国中学生選抜将棋選手権大会の形式に戻り、フェイスガードや仕切り板が無く、選手たちの宿泊も相部屋で昼夜問わず交流を深められた大会を行うことが出来ました。選手の交流事業として行われたリレー形式の将棋では、プロ棋士の方々にも参加していただき、プロの考えを体感し、より将棋の奥深さを実感していただけたと確信しております。また、新たな試みで、地元企業の協力もお借りして、「電王手」の体験会の実施や、将棋に関連した商品の展示販売など地場産業の今後の可能性を発揮できたと実感しております。「青少年の健全育成」「将棋人口の拡大」「地場産業の発展」の理念のもと確実に進化した大会運営を行えたと確信しております。

最後に参加する前は不安がいっぱいだった選手や保護者の方々から、最後には笑顔があふれ感謝のお言葉を沢山いただいたことは今でも忘れられません。今後も将棋の明るい未来を継続させるためにも、将棋を通したまちづくりの重要性をメンバー全員が認識し、次年度以降もさらなる発展に尽力していきたいと思います。

＜門脇委員長コメント＞

本年で第45回となりました全国中学生選抜将棋選手権大会は、新型コロナウイルスが第5類移行後になった初めての大会であり、コロナ禍前までに行ってきた大会様式を行うべく準備を進めて参りました。

今年度より大会中の宿泊方法を会場内の選手同士相部屋とし、第45回の節目ということで、本大会を今以上に参加選手や大会関係者、まちや地域の皆様に認識されるよう新たなチャレンジを行わせていただきました。将棋に関わる事業を行っている企業との連携や、地場産業を周知していただくブース作成など、地域に根差した方々と共に大会の一助を担うことができたと感じております。

また、大会前日には45周年記念レセプションを行い、大会関係者の皆様に感謝の意を伝え、これから末永く大会が継続していくよう結束を強固なものとすることができます。そして、大会中の交流事業では、45周年記念事業として、大会では初となる公益社団法人日本将棋連盟所属プロ棋士の先生方をゲストとして招待し、大会参加選手と一緒にリレー将棋を行い、青少年の健全育成に繋げることができました。

大会期間中は全メンバーに出席していただき、大きなトラブルもなく大会を終えることができたのも、本年度のスローガンである「No Limit」の下、委員会メンバーはじめLOMメンバー一丸で体現できた結果であると感じております。将棋の聖地天童で行われる本大会が盛り上がりを見せ、今後も参加選手の一生の思い出となれるような大会になるよう邁進していきたいと思います。

＜増子副委員長コメント＞

将棋大会特別委員会は、門脇委員長の的確な指示・指導のもと、第45回全国中学生選抜将棋選手権大会を成功させました。宿泊における保護者同室から選手同室へと大会が以前と同様の大会に戻り、選手保護者へ丁寧な説明をさせていただきました。また、45周年という節目における御来賓の皆様、日本将棋連盟等、関係者各位に感謝を伝えられた大会でした。

選手・保護者へ大会関係についてのご説明及び案内を担当し、選手保護者の皆様からお礼のお言葉をいただき、過去の大会の歴史において、委員会及びメンバーの中にも様々な選手及び選手保護者との“絆”がみえるエピソードがあり、天童青年会議所が目指すより良い事業であり、紡がれてきた事業であることを改めて実感しました。大会期間中における体調を崩した選手における身体及び精神的なケアをさせていただき、事業を通して、根気強さと、大局眼を持ち、冷静に、迅速に判断し対応する判断力の成長に繋がりました。自分の経験が浅い為、将棋大会における運営委員会の全体的且つ詳細な動きについて認識していない部分が多くある中で、過去に担当したメンバーに伺い、不足部分についてどのように対処していくかという対応の仕方についても学ばせていただきました。

継続する大会だからこそ、より洗練された事業になり得ると改めて感じることができ、この経験を踏まえ、日々の活動に反映できるように精進して参りたいと思います。

地域グループ 次世代天童創造委員会

委員長：岩田 大和	委員：東谷 敬信
副委員長：野口 賢吾	委員：清野 一希
副委員長：松田 祐輔	委員：鳥 健人
幹事：宮崎 翼	

＜事業名＞

1. 地域間交流を通して天童の魅力を発信する事業の開催
2. 市民と共につくる天童のファン拡大事業の開催
3. 全員で取り組む会員拡大
4. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
5. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
6. プランディング確立に向けた運動の推進
7. その他

＜事業概要＞

1. 地域間交流を通して天童の魅力を発信する事業の開催（例会）

事業名：天童魅力発信プロジェクト～日本中で王手と呼ばんねべ！～

実施日時：2024年4月28日（日）10:00～16:00

場所：銀座山形県アンテナショップ・菅生PA下り・ぐっと山形

参加者：LOMメンバー 44名 特別会員1名（100%例会達成）

一般参加者 121名（東京）

一般参加者 131名（宮城）

一般参加者 105名（山形）

合計 402名

内容：アンテナショップに来店する方や通行人に、天童市のガイドブック、将棋の駒などを配布しアンケートに回答していただき、天童の魅力品が当たる、はづれ無しのくじ引きをして頂き景品をプレゼントしました。また、ブースに飾り駒や地酒など天童の特産物を並べる他に背面の壁に全国中学生選抜将棋選手権大会の歴史垂れ幕と各ポスターを掲示するほか、モニターを設置し、天童市観光PR動画通年編をループ再生しPRを行いました。宮城・山形会場では輪投げ、デコ将棋のブースを設置し、来場者に楽しんでいただき、私たちにとっては日常にありあふれたものでも、市外や県外の人にはとても価値があるということを再認識し、これまでと違う新たな形で魅力を発信しました。さらに、LOMメンバー全員からご協力をいただき、100%例会達成となりました。

2. 市民と共につくる天童のファン拡大事業の開催（例会）

事業名：We Love てんどう マルシェ

実施日時：2024年10月19日（土）6:30～18:30

場 所	道の駅天童温泉 わくわくランド
参 加 者	LOM メンバー 41名 特別会員 1名
ステージイベント参加者	92名
魅力発信ブース参加者	20名
キッチンカー参加者	15名
<u>アンケート参加者</u>	<u>99名</u>
合計	268名 (他来場者多数)

内 容：わくわくランド多目的広場にて、天童菊花展と同時開催で We Love 天童マルシェを開催しました。天童魅力発信ブース 5 団体、キッチンカー10 台に出店していただき、ステージイベントでは 4 団体から出演していただきました。また来場者アンケートについては、先着 100 名限定で景品をプレゼントしアンケート記載を促しました。広報に関しては、新聞、TV、インスタグラム、フェイスブック、チラシ配布、市報、ポスターの掲示を行いました。地域資源を活かした事業を行い、多くの人に天童の魅力を感じていただきました。

3. 全員で取り組む会員拡大

内 容：会員拡大のため拡大会議、拡大活動を行いました。

4. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加

内 容：下記の大会へ参加し出向者支援を行いました。

- ・第 57 回山形ブロック大会南陽大会

5. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内 容：地域を盛り立てるべく、以下の事業に参加しました。

- ・スノーパークフェスタ
- ・天童第三中学校の職業講話
- ・天童桜まつり
- ・634 の松交流イベント
- ・天童夏祭り
- ・天童高原まつり
- ・めぐるメ
- ・J C杯
- ・第 30 回令和鍋合戦

6. ブランディング確立に向けた運動の推進

内 容：ブランディング委員会と連携し、SNS を通して情報発信を行いました。

メディアを通して情報発信を行いました。

7. その他

内 容：下記ボランティアに参加しました。

- ・能登半島地震ボランティア参加
(2024年2月石川県七尾市)
- ・能登半島地震支援金募金活動
- ・倉津川沿いゴミ拾い活動
- ・酒田市災害ボランティア参加
(2024年8月山形県酒田市)

<関東副理事長コメント>

本年度は地域を超えて天童の魅力を発信するという大きな試みを実施し、県内外の方に対して天童を知っていただくことができました。私たちはこれまでほとんどの事業を地域の中で行ってまいりましたが、今後の天童青年会議所運動の在り方を模索する良いきっかけとなったと感じております。また、若い世代と共同して開催した天童のファン拡大事業も、限りある財源の中でも創意工夫と各所よりご協力をいただくことで最大限の効果を生みだせる良い模範になったと思います。当委員会は事業を構築するにあたり自由度が高い分、最適な手法を生み出すために多くの考慮もありましたが、岩田委員長を中心に委員会メンバーが一丸となって取り組んだことが素晴らしい結果につながったものと確信しております。本年度の経験を次年度以降に引継ぎ、今後のより良い青年会議所活動につなげてまいります。

<岩田委員長コメント>

天童の魅力を東京銀座・宮城蔵生PA・ぐっと山形の3会場で発信する事業を行い、世の中の多くの人に関心を持ってもらえる事業と、私たちのまち天童で若い世代とともにマルシェを開催し、天童のファン拡大事業を行い、まちづくりの価値観について本気で考える貴重な一年になりました。また、LOMの全てのメンバーが同じ方向を向いて、同じ意識で事業を行う事の難しさや、協力し合う為のやり方などを学ぶことが出来ました。その他に能登半島地震や酒田市豪雨災害が発生し、まちづくりを考えているからこそ積極的にボランティア活動に参加することができました。今後もこの経験を活かし天童青年会議所の一員として、まちづくりに邁進してまいります。

<野口副委員長コメント>

関東副理事長、岩田委員長のもと、委員会メンバーが目的に向け一丸となれた1年だったのではないかと思います。4月例会、10月例会共に多くの方々と関わり合いをもち、協力しながら運動を展開することができました。まちの魅力を発信することの難しさや、対外事業構築の大変を知ることができ、私自身も多くの学びを得ることができたと感じます。また多くの人々と関わる事業を開催することで、人と人の繋がりの重要性を再認識させていただきました。今年の経験を活かし、次年度以降もさらなる地域発展に尽力していきたいと思います。

<松田副委員長コメント>

天童の魅力を発信するために県外での会場で事業を開催いたしました。3会場同時開催となり、人出も必要ななか、全メンバーの参加をいただき、無事に事業を行うことができました。今後も継続した事業になれば、天童青年会議所の新たな代名詞の一つになるのではないかと思います。また、10月第一例会については、大学生の方々との魅力発信や、地域の文化をステージイベントで披露していただき、天童の魅力をさらに知ることができたと思います。1年間の中で、私は参加できない時期もありましたが、岩田委員長のもと、委員会メンバー全員の支えをいただきながら活動することができました。

地域グループ 連携増強委員会

委 員 長：鈴木 基弘	委員：三宅 秀典
副委員長：國井 杏輔	委員：土屋麟太郎
副委員長：窪木 太一	委員：須藤 晃
幹 事：豊島 陸	

＜事業名＞

1. 対話を通して市民との相互理解を深める事業の開催
2. 天童ひまわり園への訪問
3. JC 杯球技大会の開催
4. まちづくり事業に関わる各種諸団体との連携及び協力
5. 全員で取り組む会員拡大
6. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
7. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
8. ブランディング確立に向けた運動の推進
9. その他

＜事業概要＞

1. 対話を通して市民との相互理解を深める事業の開催（例会）

事 業 名：てんどう未来ミーティング

実施日時：2024年6月22日（土）9:00～12:00

場 所：天童中部公民館（2階 集会室）

参 加 者：LOM メンバー	32名
天童市議会議員	2名
天童市商工観光課	2名
天童市農林課	1名
天童商工会議所青年部	2名
一般社団法人 天童市観光物産協会	1名
株式会社 DMC 天童温泉	1名
山形県将棋駒協同組合	1名
公益社団法人 日本将棋連盟 天童支部	1名
NPO 法人 ドットジェイピー 山形支部	2名
天童市農業協同組合	1名
株式会社ジェイエイてんどうフーズ	1名
天童神輿會	1名
ボランティアサークル nico こえ	4名
一般市民（大学生）	3名
合計	55名

内 容： 行政やまちづくりに関わる団体、地場産業に関わる組合や企業、高校生や大学生の学生も交えて、地域住人同士で天童をより良くするためにどうしたらよいか互いに意見交換を行いました。天童の魅力である将棋、温泉、フルーツに加え、天童夏まつりや天童のファン拡大についてのグループを作り、それぞれテーマを設け問題点や解決法を考えその結果を発表しました。また、外部の参加者から天童青年会議所の印象について感じたことを伺い、外からの視点でより良い団体にするにはどうしたら良いか意見をいただきました。私たちの活動への要望も収集しました。後日、結果をまとめた報告書を作成し各々の今後の活動に活かしてもらうために参加者と共有しました。本例会を通してメンバーのまちづくり運動への意識向上と参加者のまちづくりに対しての見識を広げることができました。立場や価値観の垣根をこえ同じ地域住人同士まちの未来について共に考えや想いを共有することで、互いの相互理解を深めるきっかけをつくることができました。

2. 天童ひまわり園への訪問（例会）

事 業 名：天童ひまわり園・ふれあい天童・天童青年会議所 交流事業

実施日時：2024年5月16日（木）10:00～14:30

場 所：蔵増公民館（集会室・和室）

協 力：特定非営利活動法人 ふれあい天童

参 加 者：LOM メンバー	37名
天童ひまわり園	35名
<u>ふれあい天童</u>	14名
合計	86名

内 容： ふれあい天童様と天童ひまわり園様と私たちで協力してうどん作りやモルックを行いました。三団体で交流を深めより良い関係性を構築するとともに、相手を思いやる心を育むことが出来ました。

3. JC杯球技大会の開催

事 業 名：第53回JC杯球技大会

実施日時：2024年10月14日（土）9:00～12:00

場 所：天童市スポーツセンター 老野森運動広場

協 力：天童市サッカー協会

参 加 者：LOM メンバー	16名
天童市サッカー協会	5名
<u>選手</u>	63名
合計	84名

内 容： 天童市サッカー協会様と連携し事業を実施することができました。参加者の小学生には、スポーツを通して相手に敬意を持ってともに称え合うことや挨拶等の礼儀を大切にすることを学んでいただきました。

大会結果：優 勝 つばさキッカーズ

準優勝 まいづる FC

第3位 天童中部 SSS

第4位 FC アルドーレ

PK戦結果：小学生の部

優 勝 天童中部 SSS

保護者の部

優 勝 天童中部 SSS

4. まちづくり事業に関わる各種諸団体との連携及び協力

4-1 地域で行われるまちづくりに関わる各種諸団体と関係性を深めるために、まちの魅力ある事業に参画し他団体と同じ目的に向かって協働しました。

(1) スノーパークフェスタ

実施日時：2024年2月3日（土）9:00～15:00

2024年2月4日（日）9:00～15:00

場 所：天童高原

内 容：天童高原にてスノーパークフェスタが開催され、メンバー22名が高原縁日、スノーレーサー、スノーストライダー、ちびっこ雪上宝探しの補助を行いました。

(2) 634の松交流イベント

実施日時：2024年5月26日（日）10:00～15:00

場 所：天童高原

内 容：天童高原にて634の松交流イベントが開催され、メンバー17名が高原縁日の補助を行いました。

(3) 第31回天童夏まつり

実施日時：2024年8月8日（木）17:00～21:30

2024年8月9日（金）17:00～21:30

場 所：天童温泉 篠田病院前～わくわくランド多目的広場

内 容：8月8日はマーチングパレード、花笠パレードが行われメンバー8名で花笠パレードの誘導を手伝いました。8月9日は天童ダンスフェスティバル、歌手によるコンサート、天童花駒おどりパレード、将棋神輿パレードが行われ、将棋神輿パレードに委員会事業「天童夏まつりへの参画」として神輿を担ぎ、夏まつりを盛り上げました。

(4) 第32回天童高原まつり

実施日時：2024年8月24日（土）10:00～14:30

2024年8月25日（日）10:00～14:30

場 所：天童高原

内 容：天童高原まつりが開催され、メンバー19名が天童牛の販売、高原縁日の補助を行いました。

(5) めぐルメ

実施日時：2024年9月28日（土）12:00～16:30

場 所：山寺～広重美術館

内 容：山寺から天童温泉街まで8箇所のポイントで山形の食と酒を味わいながらめぐるウオーキングイベントが開催され、メンバー13名が小路公園と広重美術館前にて飲食提供の補助を行いました。

(6) 第30回令和鍋合戦

実施日時：2024年11月24日（日）09:00～15:00

場 所：わくわくランド

内 容：寒い季節に多種多様な鍋料理を心身ともに味わえる「武器を使わない平和な戦」と称した「フードイベント」が開催され、メンバー12名でエコストーションの補助を行いました。

4-2 天童夏まつりへの参画（委員会事業）

実施日時：2024年8月9日（金）19:00～21:00

場 所：天童温泉 篠田病院前～わくわくランド多目的広場

協 力：天童夏まつり実行委員会

山形県立天童高等学校

学校法人山形電波学園創学館高等学校

天童環境株式会社

有限会社泉デザイン工房

天童神輿會

参 加 者：LOMメンバー 24名

天童高校生徒 9名

創学館高校生徒 7名

合計 40名

内 容：天童夏まつりの将棋神輿パレードに天童高校、創学館高校と一緒に神輿の担ぎ手として参加し、天童の夏祭りを盛り上げました。他団体との連携を強化するとともに、参加した高校生には神輿の渡業を通してまちへの愛着を持つもらうきっかけにつなげることができました。

5. 全員で取り組む会員拡大

内 容：拡大専用LINEで情報を共有するとともに候補者と交流会を行いました。

6. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加

内 容：委員会メンバー名 7 中 4 名が日本青年会議所と山形ブロック協議会へ出向しました。出向者が関わる事業に参加やオブザーブすることで支援を行いました。また、各種大会に積極的に参加しました。

7. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内 容：下記のまちづくり事業に積極的に参加し、地域の活性化につなげました。

- ・天童桜まつり
- ・YAMAGATA ROCK FES

8. プランディング確立に向けた運動の推進

内 容：プランディング委員会と連携し行政やメディアへ事業 PR を行うとともに SNS を使用し活動内容の発信を行いました。また、天童青年会議所の活動をより多くの方に知っていたくために広報誌こまを一般の方や例会の参加者に配布を行いました。

9. その他

内 容：県内外で災害の被害にあった地域に対して災害復旧のボランティアや支援金募金活動に参加しました。また天童青年会議所が行ったゴミ拾いのボランティアにも参加しました。

- ・能登半島地震災害復旧ボランティア
- ・能登半島地震支援金募金活動
- ・酒田市災害復旧ボランティア
- ・倉津川沿いゴミ拾い活動

<伊藤副理事長コメント>

連携増強委員会では、委員会名にある通り様々な関係諸団体と連携し、協働しながらお互いの事業に参加及び協力したことで、例年以上に強固な関係性を構築できたと感じております。また、委員会の担当する事業も多く、本当に委員会が一丸となって取り組むことができ、各々の成長にもつなげることができたと感じております。担当した事業すべてにおいて新しい試みを実践し、大きなインパクトを残すことができたのではないでしょうか。特に 6 月例会で参加していただいた皆さんからいただいた多くのアイディアを、一過性のもので終わらせるのではなく、是非今後の事業に取り入れていただき、地域から求められる天童青年会議所へと進化を遂げていっていただきたいと思います。

<鈴木委員長コメント>

私たちの委員会では、市民や他団体との連携強化やより良い関係性の構築に重きを置いて活動を行ってきました。多くの方を巻き込み運動を展開することができたとともに、他団体の方と同じ目的に向かって協働することで、関わりを深めより良い関係性を築くことができたと感じております。関係性の構築をきっかけにひとりでも多く私達の運動に共感をいただくことで、今後より効果的な運動が展開でき

ると考えます。また、高校生や大学生と一緒にになってまちのために事業をすることで、これから未来を背負う若い世代にも地元への愛着を深めることやまちづくりへの興味を持つきっかけをつくることができたと感じております。

<國井副委員長コメント>

今年度は、今までの繋がりをより強固なものにするために年間を通して青年会議所の事業を始め、関係諸団体の活動に参加してきました。5月例会では、新たな試みを行い参加者の方々からは大変ご好評をいただきました。また、6月例会では多くの市民からご参加をいただき、活発な意見交換の中で今後のJC運動に生かせることが多々あると感じました。さらに関係諸団体の事業に多く参加したことによって、今後も協働して運動していくことのできる関係を深めたと感じました。

JAYCEE育成委員会

委員長:近藤阿由良	委員:増子 雄太
副委員長:山口 将慎	委員:芝田 大
幹事:阿部 勇也	委員:古澤 知佑
委員:横山 翼	委員:石井 祐樹
委員:岩井 麗	委員:斎藤 雅輝
委員:関 佳祐	委員:菅野紗由里

<事業名>

1. 新入会員セミナーの実施
2. 拡大号令を起点とする会員全員で取り組む拡大会議の運営
3. 会員の運動への意識向上につながる事業の実施
4. 全員で取り組む会員拡大
5. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
6. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
7. ブランディング確立に向けた運動の推進
8. その他

<事業概要>

1. 新入会員セミナーの実施

1-1 事 業 名:理事長セミナー

実施日時:2024年2月6日(火) 19:00~

場 所:天童JCルーム

参 加 者:新入会員 2名

LOM メンバー 4名

合計 6名

講 師:理事長 片桐 一樹 君

内 容:理事長より8年間のJC活動から学んだ経験をもとに、青年会議所についてのご説

明やご自身の体験に基づいたお話をいただきました。これから青年会議所運

動において大切な姿勢を学びました。

1-2 事 業 名:メンバーと事業を知ろう

実施日時:2024年3月28日(木) 19:00~

場 所:天童JCルーム

参 加 者:新入会員 2名

LOM メンバー 10名

合計 12名

講 師:2024年度各委員長

内 容:各委員長から委員メンバーの紹介及び担当事業についても紹介していただき、具体

的な活動内容を知ることで、天童青年会議所活動への理解を深めました。

1-3 事業名：青年会議所の活動を通して

実施日時：2024年4月24日（水）19:00～

場所：天童JCルーム

参加者：新入会員 3名

入会候補者 1名

LOMメンバー 4名

合計 8名

講師：監事 渡部 潤一君

内容：青年会議所の活動を通して仕事や家庭にどのような変化があったのかをお話いただきました。青年会議所は、個人の成長だけではなく、仕事や家庭、プライベートにいい影響を与えることをご教示いただきました。

1-4 事業名：青年会議所基礎講座

実施日時：2024年5月23日（木）19:00～

場所：お食事処 奥藏

参加者：新入会員 5名

入会候補者 4名

LOMメンバー 9名

特別会員 1名

合計 19名

講師：副理事長 伊藤 光君

内容：メンバーと親睦を深め、新入会員に青年会議所で活動をしていく上での、基本的なルールや知識などを学んでいただき、楽しく交流することができました。

1-5 事業名：理事長セミナー

実施日時：2024年6月12日（水）19:00～

場所：天童JCルーム

参加者：新入会員 6名

LOMメンバー 4名

入会候補者 1名

合計 11名

講師：理事長 片桐 一樹君

内容：理事長より天童青年会議所の運動についてお話いただいた上で、出向して得られる経験や学びの必要性についてもお話しいただきました。出向することの大切さや価値を学ぶ機会となりました。

2. 拡大号令を起点とするメンバー全員で取り組む拡大会議の運営

2-1 拡大号令の発令 ※3-1 「青年会議所運動を学ぶ」と同日開催

実施日時：2024年2月21日（水）20:00～20:30

場 所：天童市総合福祉センター（第1・2学習室）

参 加 者：LOMメンバー 32名

他LOMオブザーブ 7名

特別会員 1名

合計 40名

内 容：拡大強化担当及び拡大担当から拡大方針についての説明、理事長からは拡大号令を発令していただき、メンバーの拡大に対するモチベーションを高めました。

2-2 メンバー全員で取り組む拡大会議の運営

内 容：2月第一例会の際に、上記（2-1）の内容及び、参加メンバー全員で拡大会議を実施しました。

2-3 拡大情報の共有

- (1) 各副委員長（拡大担当）が11月と2月に集まり、拡大会議を実施しました。
- (2) 今年度は委員会毎の目標などを設定しなかったため、理事会などで拡大状況について定期的な報告を行いませんでした。
- (3) 拡大LINEグループを使って候補者の情報を随時配信し、拡大運動への意識を継続的に高めました。

2-4 新たな拡大方法の模索

- (1) 拡大関係資料（入会申込書やパンフレットなど）が紙ベースで作成されていたため、過去の資料を収集整理しデータ化しました。
- (2) 会員拡大のための候補者リストの見直しや、候補者の拡大進捗状況が分かるように精査しました。
- (3) 候補者に対して積極的に青年会議所の事業やセミナーへの参加を呼びかけました。
- (4) 近隣の青年会議所と連携し、候補者情報の交換や紹介などを行いました。

3. 会員の運動への意識向上につながる事業の実施

3-1 事業名：青年会議所運動を学ぶ（例会）

実施日時：2024年2月21日（水）18:30～20:00

場 所：天童市総合福祉センター（第1・2学習室）

講 師：公益社団法人日本青年会議所東北地区協議会会長 菅原 啓太君

参 加 者：LOMメンバー 32名

他LOMオブザーブ 7名

特別会員 1名

合計 40 名
内 容：これまでの豊富な経験を通じて感じた青年会議所運動の魅力や可能性について、お話しいただきました。メンバーの意識や行動にポジティブな影響を与え、組織やメンバーの成長を促すきっかけとなりました。

3-2 事業名：意識向上につながるセミナー（委員会事業）

実施日時：2024年9月25日（水）18:30～20:00

場所：天童市中部公民館（集会室）

講師：G.G.佐藤氏（元プロ野球選手 佐藤隆彦氏）

参加者：LOMメンバー 33名

特別会員 1名

一般参加者 10名

合計 44名

内 容：元プロ野球選手であり、日本代表として数々の国際舞台で活躍してきたG.G.佐藤氏を講師に迎えました。講師自身が直面した大きな失敗や挫折から得た学びを熱くお話しいただきました。特に、失敗を通じて自分を見つめ直し、逆境を成長のチャンスととらえる姿勢について、具体的なエピソードを交えて伝えていただきました。メンバーが前向きになれる機会となり、失敗を恐れず挑戦することの重要性を改めて感じ、組織全体の活動意欲を高めました。

4. 全員で取り組む会員拡大

内 容：会員拡大のため、拡大会議や拡大活動を行ったことで、下記の成果を得ることができました。

- ・1月 2名入会
- ・4月 2名入会
- ・5月 3名入会
- ・6月 3名入会

5. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加

5-1 出向者への支援

内 容：第57回山形ブロック大会南陽大会、東北青年フォーラム in 青森に参加し、出向者への支援を行いました。

5-2 各種大会の積極的な参加

内 容：下記の大会にも積極的に参加し、新入会員を含め多くの学びの機会を得ることができました。

- ・第57回山形ブロック大会南陽大会
- ・サマーコンファレンス 2024
- ・東北青年フォーラム in 青森

・第 73 回全国大会福岡大会

6. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内 容：下記のまちづくり事業に積極的に参加し、地域の活性化につなげました。

- ・第 12 回スノーパークフェスタ
- ・桜まつり
- ・634 松交流イベント
- ・第 31 回天童夏まつり
- ・天童高原まつり
- ・第 30 回天童令和鍋合戦
- ・YAMAGATA ROCK FES

7. プランディング確立に向けた運動の推進

内 容：プランディング委員会と連携し、SNS を通して情報発信を行いました。

8. その他

8-1 事 業 名：新入会員が考える交流会の実施

実施日時：2024 年 10 月 23 日（水）19：00～21：00

場 所：山形ファミリーボール

参 加 者：LOM メンバー 27 名

特別会員 1 名

合計 28 名

内 容：新入会員が主体となり、メンバーが楽しめる手法を取り入れ交流会を実施しました。その結果、新入会員同士の結束力が高まり、現役メンバーが新入会員のことを深く知る機会となりました。

＜伊藤副理事長コメント＞

年度当初、2 名でスタートした新入会員も、最終的に 10 名という新たな仲間を迎えることができました。拡大運動がうまくいった背景として、これまでの継続した情報収集と拡大活動、直近 2 年間で入会したメンバーからの新しい候補者情報が噛み合った結果だと感じております。また、理事長の誰よりも積極的な拡大に対する行動がメンバーに伝わり、多くのメンバーが行動に移したことで 10 名の入会という成果に結びついたと確信しております。しかしながら、今後も持続可能な拡大活動を行っていくには、これまでと違った方法を模索していく必要があるとも感じました。また、拡大交流会や事業への参加呼びかけ、近隣青年会議所との連携などは、非常に効果的な手段であると思いますので、継続していくべきだと感じました。各事業面においては、運動への意識向上を目的とした講師セミナーを行い、講師に東北地区協議会の菅原会長と GG 佐藤氏をお招きしたことで、例年ない気づきや学びを得る機会となり、メンバーの自己成長につなげることができました。また、当日参加が叶わなかったメンバーに対しても事業資料や動画を共有することで全メンバーが成長できる機会を設けました。さらに、新入会員の成長

に関しては、各セミナーの開催、新入会員が考える交流会の実施を通して、成長はもちろん団結していく様を感じることができ、私自身多くの刺激をもらうことができました。新入会員の皆さんには、初心を忘れることなく挑戦し続け、様々な活動を通して、地域を牽引するリーダーへと成長していって欲しいと思います。

＜近藤委員長コメント＞

今年度は、JAYCEE 育成委員会の名の通り、「育成」に焦点を当て、新入会員とともに自己成長を目指し、取り組んで参りました。皆様のご協力のおかげで新たに10名の新入会員を迎えることができ、新たな価値観とともに事業を構築することができました。数ある意見をまとめ導く難しさを感じながらも、委員会メンバーの力を借り、事業が少しずつ形となる中で多くの学びを得ることができました。新入会員セミナーでは、青年会議所の基礎を新入会員、入会候補者に学んでいただきました。そして、意識向上を目的とした2つのセミナーを開催し、メンバーの意識や行動にポジティブな影響を与え、組織や個々の成長に寄与する重要な機会であったと感じております。新入会員の皆様には今年の学びを次年度に活かし、更に新たなステージで活躍してくれる信じております。今後も共に成長し続け、次なる挑戦に向け歩んで参りたいと思います。

プランディング担当常任理事兼財務局長：押野 将太

＜事業名＞

1. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する指導
2. コンプライアンスに関する事項の処理
3. 財務運営マニュアルの見直し
4. 全員で取り組む会員拡大
5. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
6. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力
7. プランディング確立に向けた運動の推進
8. その他

＜事業概要＞

1. 会計処理に関する事項の処理及び財務に関する指導
 - ・公益法人会計基準をもとに LOM の会計処理を行い、各委員会の財務会計の指導、助言を行いました。
 - ・各員会の予算書及び決算書について、議案上程マニュアルに沿い審査と指導を行いました。
 - ・各事業の会計処理は、財務局の承認又は指導のもとを行いました。また、領収書を確認し、支払申請書の適切な処理と不備について指導を行いました。
2. コンプライアンスに関する事項の処理
 - ・各議案におけるコンプライアンスチェックシート作成を徹底しました。また、必要に応じてコンプライアンスチェックシートの修正を行いました。
 - ・各種承諾書並びに契約書取り交わしの確認を徹底しました。また、各議案の審議までに原本の提出を求め、提出後は適切に保管を行いました。
 - ・財政審査会議を実施し、予算やコンプライアンスについて確認を行いました。
3. 財務運営マニュアルの見直し
 - ・財務運営マニュアルの内容を精査し、適正な財務管理が行えるよう見直しを行いました。
4. 全員で取り組む会員拡大
 - 内 容：新入会員候補者の情報を拡大会議や拡大 LINE で共有し会員拡大につなげました。
5. 積極的な出向ならびに出向者への支援と各種大会への積極的な参加
 - 内 容：第 73 回全国大会福岡大会へ参加しました。

6. 関係諸団体との連携を通じたまちづくり事業への協力

内 容：スノーパークフェスタへ協力しました。

7. ブランディング確立に向けた運動の推進

内 容：ブランディング担当常任理事として、ブランディング委員会と連携して広報活動を行いました。

8. その他

内 容：1月7日(日)にわくわくランドにある道の駅産直サンピュア店前にて、能登半島地震に向けた街頭募金活動を行いました。

<財務局長コメント>

青年会議所全体の予算を管理する立場として、大変責任のある役職を預からせていただきました。今年度は物価高の影響を大きく受け、予算の修正・補正を余儀なくされる場面も散見されました。先行きが不透明な時代であるからこそ、これまで以上に社会の変化に目を向け、時代に合わせた健全な財政運営を目指していく必要があると感じます。今後はこの経験を活かし、財務担当経験者としての目線で、組織のために、天童市のために行動していきたいと考えております。